

2025年3月21日

各 位

株式会社 大垣共立銀行

## 関市およびバイウィルとの「J-クレジットを活用した 脱炭素社会の実現に関する連携協定」の締結



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、関市（市長 山下 清司）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）と「J-クレジットを活用した脱炭素社会の実現に関する連携協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、OKB大垣共立銀行と関市およびバイウィルがJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO<sub>2</sub>削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的とするものです。

関市は、2004年3月に環境施策を総合的かつ計画的に推進するため「関市環境基本計画」を策定し、2022年2月には、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「関市『ゼロカーボンシティ』宣言」を行いました。さらに、2023年3月には「第二期 関市環境基本計画」を策定し、「自然と産業と伝統文化の調和した心豊かなまち せき」を目指しています。

OKB大垣共立銀行は、“環境価値と経済価値の循環”を支援するバイウィルと連携し、関市内の環境貢献努力によって創出されるJ-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、関市のカーボンニュートラル達成への貢献を目指します。

### 記

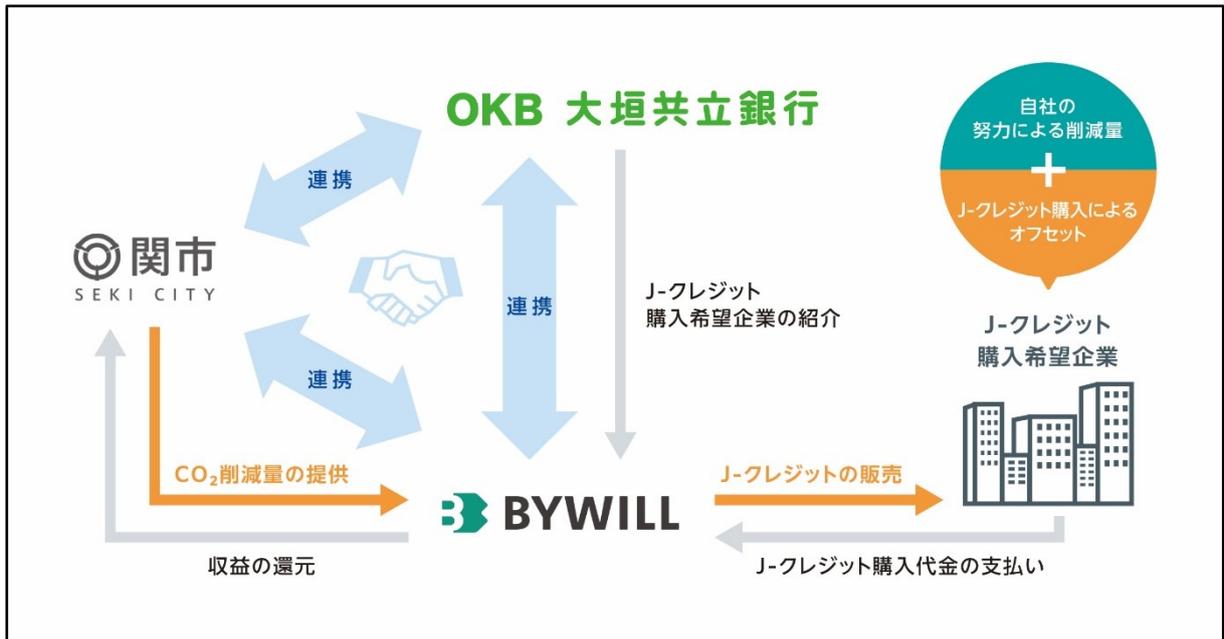
#### ■連携協定の概要

名 称	J-クレジットを活用した脱炭素社会の実現に関する連携協定
締 結 日	2025年3月21日（金）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、関市、株式会社バイウィル
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO <sub>2</sub> 削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与する
連 携 内 容	1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供 2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 3) その他、本協定の目的に資すると認める事項

以 上



【連携協定内容のイメージ】



以上